

令和5年度

# 社会調査実習報告書

第 12 号

淑徳大学

コミュニティ政策学部



## はしがき

本報告書は、淑徳大学コミュニティ政策学部コミュニティ政策学科の「社会調査実習」を履修した学生の調査研究の成果である。

コミュニティ政策学科では、専門科目（社会学分野）の教育目標に「社会事象や社会に関連する諸事実を明らかにするために、データの収集から分析にいたるまでの基礎的な事柄を理論と方法の両面から理解する」ことを据え、コミュニティ研究の方法の1つである社会調査を学生が体系的に学習するためのカリキュラムを組んでいる。1年次前期に「社会調査論」、1年次後期に「社会調査法」、2・3年前期に「統計解析法」と「社会統計学」、2・3年後期に「量的解析法」を履修する。これらの計5科目の単位を修得済みであることが、3・4年前期開講の「社会調査実習」の履修条件となっている。

「社会調査実習」は、それまでの各社会調査関連科目での学びの集大成として、研究テーマの設定から、テーマに関わる仮説および分析方法の検討、調査票の作成、実査、データの集計と解析、そして報告書による成果の公表という社会調査の一連の過程に、学生が主体となって取り組むものである。

令和5年度の科目担当教員は青柳涼子と本多敏明であり、履修学生は5名であった。5名ともこの「社会調査実習」の単位修得をもって「社会調査士資格」取得に必要な科目をすべて履修済みとなる。

今年度は、人々の地域活動や地域愛着を規定する要因の探索を主な調査課題に設定した。新型コロナウイルスの影響で中止や規模縮小を余儀なくされた地域の諸活動が、今、徐々に再開されてきている。しかし、その一方で、ひとたび途切れてしまった活動は、なかなか元通りにならず、担い手の士気が下がってしまったなどという声もしばしば聞かれる。「どのような要素が人々を地域活動へと導く手がかりとなるのか」「地域活動の参加経験は、地域に対する愛着形成に影響を与えるのか」「子どもの頃の地域活動への参加経験は、その地域に対する愛着形成に影響を与えるのか」、こうした点に注目し、新たな知見を得ようとした5名の履修生の分析は、荒削りながらもそれぞれ意義あるものとなっている。

最後になったが、今回の調査にご協力いただいた方々に対して心より感謝を申し上げたい。

淑徳大学コミュニティ政策学部  
教授 青柳涼子  
准教授 本多敏明

## 目次

はしがき	青柳 涼子・本多 敏明	i
第1章 調査概要	青柳 涼子	1
第2章 祭りの参加意欲と地域愛着度、近所づきあいの関連に関する分析 .....	高島 知里	3
第3章 地域愛着度とボランティア活動参加の関連	浦谷 翔瑛	7
第4章 地域愛着・多様性意識と地域人間関係の良さの関連	王 翼辰	12
第5章 小学校時代に住んでいた地域に対する愛着を規定する要因の検討 .....	張 馨方	17
第6章 地域愛着度と学校教育の関係性	中村 敦志	22
あとがき	青柳 涼子・本多 敏明	27
付録		
基礎集計表		31
調査票		49

# 第1章 調査概要

青柳 涼子

## 1. 調査概要

### 1) 調査目的と調査名称

本調査の目的は、人々の地域社会との関わりのありようと地域に対する愛着の程度、さらにその両者の関連性を明らかにすることにある。現在、暮らしている地域でのボランティア活動への参加経験や地域イベントとしてのお祭りへの参加経験が地域に対する愛着を形成する契機となるのか否か、また、幼少期（小学校時代）の地域スポーツ団体への所属やお祭りへの参加経験、小学校での地域学習経験が、当時、暮らしていた地域に対する愛着を形成する契機となるのか否か、そうした点への着眼が本調査の特徴といえる。

### 2) 調査対象

本調査の調査対象者は、千葉県在住の男女1,000人である。対象者の年齢は20～69歳で、住民基本台帳（2022年4月1日現在）で確認した性別年齢別人口の分布に基づきサンプルを割り当てた。調査方法はインターネット調査であり、株式会社クロスマーケティングに依頼した。

表1-1は、調査対象地域の性別年齢別人口とサンプル割り当て数を示している。

年齢階級	男性	女性	合計
住民基本台帳に基づく人口			
20-29	341,864	319,315	661,179
30-39	375,998	346,597	722,595
40-49	479,742	444,407	924,149
50-59	465,907	433,098	899,005
60-69	356,688	357,876	714,564
合計（20-69）	2,020,199	1,901,293	3,921,492
サンプル割り当て数			
20-29	87	82	169
30-39	96	88	184
40-49	123	113	236
50-59	119	110	229
60-69	91	91	182
合計（20-69）	515	485	1000

調査期間は、2023年6月20日（火）から6月22日（木）である。

回収された1000サンプルに対してエラーチェックを行ったところ、全サンプルが有効であることが確認された。

有効サンプルの性別年齢別分布を表1-2に示す。

**表 1-2 性別年齢別分布**

年齢	男性	女性	合計
20-29	87	82	169
30-39	96	88	184
40-49	123	113	236
50-59	119	110	229
60-69	91	91	182
合計 (20-69)	516	484	1000

### 3) 調査名称と調査項目

調査名称は、「地域生活に関するアンケート」である。

以下に、主要な調査項目を示す。

#### 〈現在、住んでいるまちについて〉

- ・ 居住年数
- ・ 近所づきあい等、地域内の人間関係
- ・ 地域イベント（祭り）への参加経験
- ・ 地域活動（ボランティア）への参加経験
- ・ 行政による施策や地域での住民活動等に関する意見
- ・ 地域愛着

#### 〈小学生の時に住んでいたまちについて〉

- ・ 地域イベント（祭り）への参加経験
- ・ 地域活動（スポーツ団体）への所属経験
- ・ 地域に関する知識の有無
- ・ 地域に関する事柄の学習経験
- ・ 地域愛着

なお、回答者の性別と年齢については調査会社より提供された。これらは、調査会社にモニター登録している者が年1回更新しているデータである。

本調査の基礎集計結果は、巻末に収載されている。

## 第2章 祭りの参加意欲と地域愛着度、近所づきあいの関連に関する分析

高島 知里

本章の分析で使用する変数は、調査対象者のお祭りへの参加意欲の程度、地域愛着度、近所づきあいの程度、居住年数の4つである。居住年数の長さは地域のお祭りへの参加意欲と関連するか、また、地域のお祭りへの参加意欲の高低は、地域愛着度や近所づきあいの程度と関連するかを明らかにするために、下記の3つの仮説を検証する。

1. 居住年数が長い人は短い人よりも、地域のお祭りに参加する意欲が高い。
2. 地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも、地域愛着度が高い。
3. 地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも、近所づきあいをしている。

### 1. 仮説1の検証——居住年数と地域のお祭りへの参加意欲の関連

仮説1「居住年数が長い人は短い人よりも、地域のお祭りに参加する意欲が高い」を検証するために使用する変数は、「居住年数」と「地域のお祭りへの参加意欲」である。

#### 1) 居住年数

居住年数について、調査票では「あなたは、今、住んでいるまちに何年、暮らしていますか」という質問文を設け、選択肢には「5年未満」「5年以上10年未満」「10年以上15年未満」「15年以上20年未満」「20年以上」の5つを用意した。

その結果、居住年数が「5年未満」の人は15.9% (159人)、「5年以上10年未満」の人は11.9% (119人)、「10年以上15年未満」の人は12.0% (120人)、「15年以上20年未満」の人は11.2% (112人)、「20年以上」の人は49.0% (490人)であった。

分析をするにあたって「5年未満」「5年以上10年未満」「10年以上15年未満」「15以上20年未満」を「20年未満」としてまとめ、「20年以上」と区別した。「20年未満」は51.0% (510人)、「20年以上」は49.0% (490人)である。

#### 2) お祭りへの参加意欲

地域のお祭りへの参加意欲について、調査票では「あなたは、今、住んでいるまちで行われるお祭りに参加していますか（コロナ禍でお祭り自体が中止されていた期間を除いて回答してください）」という質問文を設け、選択肢には「必ず参加している」「できるだけ参加している」「気が向けば参加している」「参加していない」「行われているか、わからない」の5つを用意した。

その結果、地域のお祭りに「必ず参加している」人は2.1% (21人)、「できるだけ参加している」人は7.9% (79人)、「気が向けば参加している」人は28.5% (285人)、「参加していない」人は44.1% (441人)、「行われているか、わからない」人は17.4% (174人)であった。

分析にさいして、「必ず参加している」「できるだけ参加している」「気が向けば参加している」を「参加意欲高群」、「参加していない」と「行われているか、わからない」を「参加意欲低群」にまとめた。「参加意欲高群」は38.5% (385人)、「参加意欲低群」は61.5% (615人)である。

### 3) 分析

表 2-1 は、居住年数と地域のお祭りへの参加意欲についてクロス集計とカイ二乗検定を行った結果を示している。p 値は 0.360 で、居住年数によって地域のお祭りへの参加意欲に有意な差はみられない。今回の分析から、居住年数と地域のお祭りに参加する意欲の間には関連がないことがわかった。

表 2-1 居住年数別にみる地域のお祭りへの参加意欲

	参加意欲高群	参加意欲低群	$\chi^2$ 値	p 値	
20 年未満 (n=510)	37.0%	63.0%	0.91	0.360	n. s.
20 年以上 (n=490)	40.0%	60.0%			

## 2. 仮説 2 の検証——地域のお祭りへの参加意欲と地域愛着の関連

仮説 2 「地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも、地域愛着度が高い」を検証するために使用する変数は、「地域のお祭りへの参加意欲」と「地域愛着度」である。このうち、「地域のお祭りへの参加意欲」については、仮説 1 の検証に用いた変数を使用する。

### 1) 地域愛着度

地域愛着度を測るために用意した項目は、以下の 10 項目である。

1. このまちはリラックスできる
2. 雰囲気や土地柄が気に入っている
3. このまちを歩くのは気持ちよい
4. お気に入りの場所がある
5. 自分のまちという感じがする
6. このまちが好きだ
7. まちに思い出がある
8. まちに自分の居場所がある
9. このまちは住みやすい
10. このまちにずっと住みたい

選択肢には「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の 4 つを用意した。調査対象者の地域愛着度を算出するために、まず「あてはまる」に 3 点、「どちらかといえばあてはまる」に 2 点、「どちらかといえばあてはまらない」に 1 点、「あてはまらない」に 0 点を与えた。これらを用いて合成尺度を作成するにあたり、信頼性係数を算出したところ、 $\alpha = 0.954$  と 0.7 以上であった。10 項目を地域愛着に関する尺度として使用することに一定の内的整合性があると判断された。

10 項目の総和を算出した。理論値は最小値 0、最大値 30、得点が高いほど地域愛着度が高いことを意味する。結果、以下ようになった。平均値 16.4、最小値 0、最大値 30、標準偏差 7.45、歪度 -0.44、尖度 -0.03。



## 2) 分析

地域のお祭りへの参加意欲と地域愛着について t 検定を行った。その結果を表 2-2 に示す。

表 2-2 お祭りへの参加意欲と地域愛着度の関連 (t 検定)

	平均値	標準偏差	t 値	p 値	
参加意欲高群 (n=385)	19.3	6.20	10.9	0.000	***
参加意欲低群 (n=615)	14.6	7.58			

分析の結果、0.1%水準で有意な差が確認された。つまり、地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも地域に対する愛着度が高いといえる。

## 3. 仮説3の検証——地域のお祭りへの参加意欲と近所づきあいの関連

仮説3「地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも、近所づきあいをしている」を検証するために使用する変数は、「地域のお祭りへの参加意欲」と「近所づきあいの程度」である。

なお、「地域のお祭りへの参加意欲」については、仮説1の検証に用いた変数を使用する。

### 1) 近所づきあいの程度

近所づきあいの程度を測るために用意した項目は、以下の5項目である。

1. 会うとあいさつをする人
2. 会うと立ち話をする人
3. おみやげを渡す人
4. お互いの家を訪問しあう人
5. 家族ぐるみの付き合いがある人

選択肢には「たくさんいる」「数人いる」「いない」の3つを用意した。調査対象者の近所づきあいの程度を算出するために、便宜的に「たくさんいる」に2点、「数人いる」に1点、「いない」に0点を与え、5項目の総和を算出した。そのうえで、同程度の人数規模になるように2群に分けた。「近所づきあい低群」は合計点数が1点以下で、全体の50.5% (505人) を占める。「近所づきあい高群」は合計点数が2点以上で、全体の49.5% (495人) を占める。

## 2) 分析

表 2-3 は、地域のお祭りへの参加意欲と近所づきあいの程度についてクロス集計とカイ二乗検定を行った結果を示している。p 値は 0.000 で、地域のお祭りへの参加意欲の程度と近所づきあいの程度には有意な関連がみられた。今回の分析から、地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも、近所づきあいをしていることがわかった。

表 2-3 お祭りへの参加意欲別にみる近所づきあい

	近所づきあい高群	近所づきあい低群	p 値	
参加意欲高群 (n=385)	71.2%	28.8%	0.000	***
参加意欲低群 (n=615)	35.9%	64.1%		

#### 4. まとめ

本章では、まず、居住年数とお祭りへの参加意欲についてクロス集計とカイ二乗検定を行った。分析の結果、この2つの変数間に有意な関連はみられず、「居住年数が長い人は短い人よりも、地域のお祭りに参加する意欲が高い」という仮説1は棄却された。地域に長く住んでいる人のほうがお祭りに参加する意欲が高いのではないかと考えたが、実際はそのような関連性はなかった。

ただし、今回の調査では、居住年数「20年以上」という回答が約半数を占めてしまったために、やむを得ず「20年未満」と「20年以上」の2群で比較した。居住年数をたずねるさいの選択肢を、例えば「10年未満」「10年以上20年未満」「20年以上30年未満」「30年以上40年未満」「40年以上」などと細かく設定した場合、今回と異なる分析結果が得られたかもしれない。

次に、お祭りの参加意欲と地域愛着度について平均値の差の検定（t検定）を行った。分析の結果、有意な関連がみられた。「地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも、地域愛着度が高い」という仮説2は立証された。

最後に、お祭りへの参加意欲と近所づきあいの程度についてクロス集計とカイ二乗検定を行った。分析の結果、有意な関連が確認された。「地域のお祭りに参加する意欲が高い人は低い人よりも、近所づきあいをしている」という仮説3も立証された。

最後に、仮説2と仮説3に関しては、変数間の因果関係が不明である点に言及しておく。すなわち、お祭りに参加していると地域愛着が高まるのか、それとも地域愛着が高いからお祭りに参加するのかは不明である。同様に、お祭りに参加することで近所づきあいが多くなるのか、それとも近所づきあいをしていることでお祭りに参加するようになるのかは不明である。

コロナの影響で地域活動の多くが中止になったり大きく変更されたりしたが、今、少しずつ復活しつつある。祭りをはじめとする地域の各種イベントへの参加と地域に対する愛着や関心がどのような関係性にあるのか、引き続き注目する必要があるだろう。

## 第3章 地域愛着度とボランティア活動参加の関連

浦谷 翔瑛

本章では、地域住民の地域愛着度と、ボランティア活動への参加経験の有無、活動参加の契機、活動参加の目的の関連について分析する。私自身、大学在学中に複数回ボランティア活動に参加したことがあり、私のようなボランティア活動に参加している方の地域愛着度の程度が気になった為、このような分析を実施した。具体的には以下の3つの仮説を検証する。

1. 地域愛着度が高い人は低い人よりも、ボランティア活動に参加している。
2. 地域愛着度が高い人は低い人よりも、自主的にボランティア活動に参加している。
3. 地域愛着度が高い人は低い人よりも、地域のためにボランティア活動に参加している。

### 1. 地域愛着度とボランティア活動の参加経験の関連について

仮説1「地域愛着度が高い人は低い人よりも、ボランティア活動に参加している」を検証する。地域愛着度を独立変数、ボランティア活動の参加経験の有無を従属変数とする。

#### 1) 地域愛着度の尺度化

地域愛着度を測定するために尋ねた項目は、以下の通り、10項目である。

1. このまちはリラックスできる
2. 雰囲気や土地柄が気に入っている
3. このまちを歩くのは気持ち良い
4. お気に入りの場所がある
5. 自分のまちという感じがする
6. このまちが好きだ
7. まちに思い出がある
8. まちに自分の居場所がある
9. このまちは住みやすい
10. このまちにずっと住みたい

回答の選択肢は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の4つで、「あてはまる」に3点、「どちらかといえばあてはまる」に2点、「どちらかといえばあてはまらない」に1点、「あてはまらない」に0点を与えた。

10項目の信頼性係数は  $\alpha = 0.954$  で、内的一貫性が確認された。そこで10項目の総和を算出する。理論値では最小値0、最大値30で、得点が高いほど地域愛着度が高いということになる。平均値16.4、最小値0、最大値30、標準偏差7.45、歪度-0.44、尖度-0.03。

なお、本分析にあたっては、得点の分布を確認の上、愛着度を高群と低群に分けた。具体的には17点以下（505人）を地域愛着低群、18点以上（495人）を地域愛着高群とみなした。

## 2) ボランティア活動参加経験の有無

ボランティア活動の参加経験について尋ねた項目は、以下の9項目である。

1. パトロールなどの防犯ボランティア
2. パトロールや避難所設営などの防災ボランティア
3. ゴミ拾いなどの環境保全ボランティア
4. スポーツや健康づくりに関するイベントのボランティア
5. 祭りや文化祭などのイベントのボランティア
6. 敬老会の開催など高齢者を対象とした活動のボランティア
7. 子ども会など子どもを対象とした活動のボランティア
8. 国際交流活動のボランティア
9. 募金活動のボランティア

上記9項目それぞれについて用意した回答の選択肢は、「複数回、参加したことがある」「一度、参加したことがある」「参加したことがない」「活動がない/活動があるか分からない」の4つである。分析のため、これらをカテゴリー統合し、「複数回、参加したことがある」「一度、参加したことがある」と回答した人を参加経験あり、全ての項目について「参加したことがない」「活動がない/活動があるか分からない」と回答した人を参加経験なしとした。

その結果、参加経験ありは326人(32.6%)、参加経験なしは674人(67.4%)となった。

## 3) 分析

地域愛着度とボランティア参加経験の有無についてクロス集計およびフィッシャーの正確確率検定を行った。その結果を表3-1に示す。

表3-1 地域愛着度別にみたボランティア参加経験の有無

	参加経験あり	参加経験なし	p 値	
地域愛着低群 (n=505)	25.1%	74.9%	0.000	***
地域愛着高群 (n=495)	40.2%	59.8%		

分析の結果から、地域愛着度が低い人の場合、「ボランティア活動に参加したことがある」人の割合は25.1%と全体の4分の1ほどであるのに対し、地域愛着度が高い人の場合、ボランティア活動に参加したことがある人の割合は40.2%と4割を超えている。この結果から、地域愛着度が高い人は低い人よりも、ボランティア活動に参加していることが分かる。2つの変数間に有意な関連が確認されたため、仮説1（地域愛着度が高い人は低い人よりも、ボランティア活動に参加している）は立証されたといえる。

## 2. 地域愛着度とボランティア活動の契機に関する関係について

仮説2「地域愛着度が高い人は低い人よりも、自主的にボランティア活動に参加している」を検証する。地域愛着度を独立変数、ボランティア活動の契機を従属変数とする。

### 1) 地域愛着度の尺度化

地域愛着度については「1. 地域愛着度とボランティア活動の参加経験の関連について」で使用した変数をそのまま使用する。

### 2) ボランティア活動の契機について

「1. 地域愛着度とボランティア活動の参加経験の関連について」で使用したボランティア活動の参加経験に関する質問項目において、「複数回、参加したことがある」「一度、参加したことがある」どちらかを選択した者（326名）のみを対象に、「ボランティア活動の契機」について尋ねている。具体的な質問項目は「私は、自主的にボランティア活動に参加している」というもので、ボランティア活動への参加が「自主的」なものか否かを尋ねている。

回答の選択肢は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の4つであり、分析にさいしては「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」をあてはまる群に、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」をあてはまらない群にカテゴリ統合した。その結果、あてはまる群は79人（24.2%）、あてはまらない群は247人（75.8%）である。

### 3) 分析

地域愛着度とボランティア活動の契機についてクロス集計およびフィッシャーの正確確率検定を行った。その結果を表3-2に示す。

表3-2 地域愛着度別にみたボランティア活動の契機（自主的か）

	あてはまる群	あてはまらない群	p 値	
地域愛着低群 (n=127)	13.4%	86.6%	0.000	***
地域愛着高群 (n=199)	31.2%	68.8%		

分析の結果、地域愛着度が低い群の場合、ボランティア活動に「自主的」に参加している人の割合は13.4%とおよそ1割であるのに対し、地域愛着度が高い群の場合、「自主的」に参加している人の割合は31.2%と3割を超えている。つまり、地域愛着度が高い人は地域愛着度が低い人よりも「自主的」にボランティア活動に参加していることが明らかになった。よって、仮説2（地域愛着度が高い人は低い人よりも、自主的にボランティア活動に参加している）は立証されたことになる。

### 3. 地域愛着度とボランティア活動の目的の関連について

仮説3「地域愛着度が高い人は低い人よりも、地域のためにボランティア活動に参加している」を検証する。仮説3では、地域愛着度を独立変数に、ボランティア活動の目的を従属変数とする。

#### 1) 地域愛着度の尺度化

地域愛着度については「1. 地域愛着度とボランティア活動の契機の関連について」で使用した変数をそのまま使用する。

#### 2) ボランティア活動の目的について

「1. 地域愛着度とボランティア活動の参加経験の関連について」で使用したボランティア活動の参加経験に関する質問項目において、「複数回、参加したことがある」「一度、参加したことがある」どちらかを選択した者（326名）のみを対象に、「ボランティア活動の目的」について尋ねている。具体的な質問項目は「私は、地域のためにボランティア活動に参加している」というもので、ボランティア活動への参加が「地域のため」と考えているか否かを尋ねている。

回答の選択肢は「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の4つであり、分析にさいしては「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」をあてはまる群に、「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」をあてはまらない群にカテゴリ統合した。その結果、あてはまる群は92人（28.2%）、あてはまらない群は234人（71.8%）である。

#### 3) 分析

地域愛着度とボランティア活動の目的について、クロス集計およびフィッシャーの正確確率検定を行った。その結果を表3-3に示す。

表3-3 地域愛着度別にみたボランティア活動の目的（地域のため）

	あてはまる群	あてはまらない群	p 値	
地域愛着低群 (n=127)	15.7%	84.3%	0.000	***
地域愛着高群 (n=199)	36.2%	63.8%		

分析の結果から、地域愛着が低い人の場合、「地域のために」ボランティア活動に参加している人は15.7%であることに對し、地域愛着度が高い人の場合は36.2%である。つまり、地域愛着度が高い人の方が低い人よりも「地域のために」ボランティア活動に参加しているということが分かった。よって、仮説3（地域愛着度が高い人は低い人よりも、地域のためにボランティア活動に参加している）は立証されたといえる。

#### 4. まとめ

これまで述べてきたとおり、私が立てた3つの仮説は、分析の結果、いずれも立証された。

地域のボランティア活動に参加したことがある人は参加したことがない人よりも地域愛着度が高く、地域愛着度が高い人は低い人よりも自主的にボランティア活動に参加し、また地域のためにボランティア活動に参加していることが分かった。

ただし、調査企画段階では「地域愛着度」と「ボランティア活動の参加回数」の関連を調べたいと考えていた。しかし、実際に集まったデータでは、ボランティア経験が一度もない者の割合が高く、参加回数の分析をすることは困難であった。そのため、急きょ「ボランティア参加経験の有無」という変数を作成して地域愛着度との関連を分析することになってしまった。アンケートの項目を作成する段階で、ボランティア経験の定義づけを再考するなどして改善を図れば、自分の関心事に近い分析ができたかもしれない。再度調査する機会があれば、今回使用した項目を練り直して納得のできる分析が行えるよう努力したい。

## 第4章 地域愛着・多様性意識と地域人間関係の良さの関連

王 翼辰

本章では、地域愛着・多様性意識・地域人間関係の良好さという三者の関連について検討する。はじめに、今回の研究テーマを決めた理由を述べる。現代社会は、人間一人ひとりの個を尊重し、様々な価値観を共有する多様性（ダイバーシティ）を目指す社会であり、「多様性の時代」とも言われている。筆者は社会福祉学科の学生として、多様な価値観を認め合う社会づくりと地域活動に関心を持っている。今回の調査を通じて、多様性意識が地域愛着と地域の人間関係に影響を与えているのかを知りたい。また、地域愛着と地域の人間関係の関係性があるかどうかを知りたい。そこで、以下3つの仮説を検討する。

仮説1：社会が多様であることを肯定する意識の高い人は低い人よりも、地域愛着度が高い。

仮説2：社会が多様であることを肯定する意識の高い人は低い人よりも、地域における人間関係が良好である。

仮説3：地域における人間関係が良好な人はそうではない人よりも、地域愛着度が高い。

### 1. 分析に使用する変数の尺度化

#### 1) 多様性意識に関する項目

調査対象者の多様性意識の高低を知るため、調査対象者が住んでいる地域において、以下の①～⑩の取り組みをそれぞれ必要だと思うかを尋ねた。

- ① 外国籍の住民が住みやすくなるための条例を作ること
- ② 子育て世帯を支援するための条例を作ること
- ③ 性的マイノリティ（LGBTQ+）の方に対する、パートナーシップ制度を導入すること
- ④ 障がい者のために地域でバリアフリーを整備すること
- ⑤ 女性の「生理の貧困」問題の対策として、生理用品の無償配布活動をする
- ⑥ 住民同士のふれあい活動や近所づきあいを推進すること
- ⑦ ひとり暮らし高齢者の見守り活動をする
- ⑧ 定期的に子ども食堂を開催すること
- ⑨ 刑務所を出所した方の更生のための就労場所を作ること
- ⑩ 認知症高齢者を理解するための知識やスキルを学ぶ講座を開くこと

それぞれの項目について「とても必要だと思う」、「必要だと思う」、「必要だと思わない」、「全く必要だと思わない」の4件法で回答を得た。「とても必要だと思う」を3点、「必要だと思う」を2点「必要だと思わない」を1点、「全く必要だと思わない」を0点にした。

これらを合成変数にするために、信頼性係数を算出したところ、信頼性係数は0.925と0.7以上であるため、先の10項目を多様性意識尺度として使用することに一定の内的整合性があると判断された。

また、10項目の総和を算出する。理論値では最小値0、最大値30で、得点が高いほど多様性意



識が高いことを意味する。結果、以下のようになった。平均値 15.7、最小値 0、最大値 30、標準偏差 6.08、歪度-0.77、尖度 0.68。

## 2) 地域の人間関係の良好さに関する項目

調査対象者の住んでいる地域における人間関係の良好さを知るために、以下①～⑥の項目を用意した。

- ① 地域の人には基本的に正直である
- ② 地域の人には基本的に善良で親切である
- ③ 地域の人には他人を信頼している
- ④ 地域の人には信頼できる
- ⑤ 地域の人間関係はとても良い
- ⑥ 地域には知っている人がたくさんいる

それぞれの項目について「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」、「どちらかといえばあてはまらない」、「あてはまらない」の4件法で回答を得た。「あてはまる」を3点、「どちらかといえばあてはまる」を2点、「どちらかといえばあてはまらない」を1点、「あてはまらない」を0点とした。

これらを合成変数にするために、信頼性係数を算出したところ、信頼性係数は 0.939 と 0.7 以上であるため、先の6項目を調査対象者の地域における人間関係の良好さを示す尺度として使用することに一定の内的整合性があると判断された。そこで、6項目の総和を算出する。理論値では最小値0、最大値18で、得点が高いほど地域における人間関係が良好であることを意味する。結果、以下のようになった。平均値 8.8、最小値 0、最大値 18、標準偏差 4.17、歪度-0.64、尖度 0.12。

## 3) 地域愛着について項目

調査対象者の住んでいる地域に対する地域愛着度を知るために、以下①～⑩の項目を用意した。

- ① このまちはリラックスできる
- ② 雰囲気や土地柄が気に入っている
- ③ このまちを歩くのは気持ち良い
- ④ お気に入りの場所がある
- ⑤ 自分のまちという感じがする
- ⑥ このまちが好きだ
- ⑦ まちに思い出がある
- ⑧ まちに自分の居場所がある
- ⑨ このまちは住みやすい
- ⑩ このまちにずっと住みたい

それぞれの項目について「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」、「どちらかといえば

あてはまらない」、「あてはまらない」の4件法で回答を得た。「あてはまる」を3点、「どちらかといえばあてはまる」を2点「どちらかといえばあてはまらない」を1点、「あてはまらない」を0点とした。

これらを合成変数にするために、信頼性係数を算出したところ、信頼性係数は0.954と0.7以上であるため、地域愛着に関する10項目を尺度として使用することに一定の内的整合性があると判断された。そこで、10項目の総和を算出する。理論値では最小値0、最大値30で、得点が高いほど地域に対する愛着度が高いことを意味する。結果、以下ようになった。平均値16.40、最小値0、最大値30、標準偏差7.45、歪度-0.44、尖度-0.03。

## 2. 分析

### 1) 仮説1「社会が多様であることを肯定する意識の高い人は低い人よりも、地域愛着度が高い」の検証

表4-1 多様性意識と地域愛着度の相関分析

	平均	標準偏差	相関係数	p 値
多様性意識 (n=1000)	16.4	7.45	0.315	0.000
地域愛着度 (n=1000)	15.7	6.08		

仮説1を検証するために多様性意識尺度と地域愛着度について相関分析を行ったところ、有意水準は0.000と0.1%水準で2つの変数間に関連性があることが明らかになった。相関係数の値は0.315で、弱い正の相関が認められた。

### 2) 仮説2「社会が多様であることを肯定する意識の高い人は低い人よりも、地域における人間関係が良好である」の検証

表4-2 多様性意識と地域人間関係の相関分析

	平均	標準偏差	相関係数	p 値
多様性意識 (n=1000)	15.7	6.08	0.408	0.000
地域人間関係 (n=1000)	8.8	4.17		

多様性意識と地域における人間関係の良好度について相関分析を行ったところ、有意水準は0.000と0.1%水準で2つの変数間に関連性があることが明らかになった。相関係数の値は0.408で、正の相関があった。

### 3) 仮説3「地域における人間関係が良好な人はそうではない人よりも、地域愛着度が高い」の検証

表4-3 地域人間関係と地域愛着度の相関分析

	平均	標準偏差	相関係数	p 値
地域人間関係 (n=1000)	8.8	4.17	0.581	0.000
地域愛着度 (n=1000)	16.4	7.45		

人間関係の良好度と地域愛着度について相関分析を行ったところ、有意水準は0.000と0.01%水準で2つの変数間に関連性があることがわかった。相関係数の値は0.581で、やや強い正の相関があった。

### 3. まとめ

仮説1「社会が多様であることを肯定する意識の高い人は低い人よりも、地域愛着度が高い」を検討した1)の分析から、多様性意識の高さと地域愛着度には弱い正の相関があることが明らかになった。多様性意識が高い人は物事に対する包容力があり、包容力があることによって、自分の住んでいる地域に対しても満足感を感じやすいのではないだろうか。加えて、その地域の中で自分の関心があるものを見つけられる力も高いために愛着度が高いのではないかと思われる。

仮説2「社会が多様であることを肯定する意識の高い人は低い人よりも、地域における人間関係が良好である」を検討するために行った2)の分析から、多様性意識の高さと地域の人間関係の良好さは正の相関にあることが明らかになった。多様性意識が高い人は、他者への共感を持ちながら身近な人と付き合っていることが推測された。また、多様性意識が高い人は、優しい心を持ち、地域の物事を受け入れ、地域で良い人間関係を築けている可能性もあるだろう。

仮説3「地域における人間関係が良好な人はそうではない人よりも、地域愛着度が高い」を検討するために行った3)の分析から、地域の人間関係の良好さと地域愛着度の高低には、やや強い正の相関があることが明らかになった。地域の人間関係が良いほうが住み心地は良いと思われる。地域の人間関係が良好なため、地域全体に対しても愛着を感じながら、その地域で暮らし続けたいなどと思うようになるのではないか。

近年、多様性を認め合う地域社会をつくることがホットトピックになっている。一人ひとりの個性と生活スタイルを尊重し、思いやりのある社会環境づくりに努めることが重要な課題だと思われる。今回の調査で多様性意識と地域愛着の関係を調べたが、多様性意識に関する各項目の回答結果を詳しく見ると、項目と項目の間には「差」があることが確認された。

例えば、「子育て世帯を支援するための条例を作ること」と「ひとり暮らし高齢者の見守り活動をする事」の2項目については、「とても必要だと思う」と「必要だと思う」を選んだ方を合わせると、それぞれ68.4%と77.0%に達する。しかし、「刑務所を出所した方の更生のための就労場所を作ること」と「性的マイノリティ(LGBTQ+)の方に対する、パートナーシップ制度を導入すること」の2項目については、「とても必要だと思う」と「必要だと思う」を選んだ方を合わせても、それぞれ42.7%と53.1%と全体の4～5割程度である(他の項目については、巻末資料を参照のこと)。

表 4-4 多様性意識の項目別回答分布（一部）

Q7_2		子育て世帯を支援するための条例を作ること	
		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	140	14.0
2	必要だと思う	544	54.4
3	必要だと思わない	217	21.7
4	全く必要だと思わない	99	9.9

Q7_7		ひとり暮らし高齢者の見守り活動をする事	
		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	163	16.3
2	必要だと思う	607	60.7
3	必要だと思わない	154	15.4
4	全く必要だと思わない	76	7.6

Q7_9		刑務所を出所した方の更生のための 就労場所を作ること	
		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	32	3.2
2	必要だと思う	395	39.5
3	必要だと思わない	388	38.8
4	全く必要だと思わない	185	18.5

Q7_3		性的マイノリティ（LGBTQ+）の方に対する、 パートナーシップ制度を導入すること	
		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	55	5.5
2	必要だと思う	476	47.6
3	必要だと思わない	314	31.4
4	全く必要だと思わない	155	15.5

質問文：あなたが、今、住んでいる地域（まち）において以下の1～10のことは必要だと思いますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

筆者は、多様性が尊重される社会では「誰も独りぼっちにしない」という価値観が重要だと考えている。子ども、高齢、障がい者に対して優しい社会をつくることに留まらず、誰もがいきやすい社会をつくっていくことが不可欠と思われる。

## 第5章 小学校時代に住んでいた地域に対する愛着を規定する要因の検討

張 馨方

本章では、幼少期の経験が当時、住んでいた地域に対する愛着とどのような関連があるかを検討する。具体的には、調査対象者が小学生の時に、子ども対象のスポーツチームに入っていたか、どのようなスポーツチームに入っていたか、また、地域のお祭りに参加する意欲が高かったか、という3つの事柄に注目し、そうした事柄と当時、住んでいた地域に対する愛着度の高低の関連を分析する。スポーツ団体に所属したり祭りに参加したりすることで、人々は地域に愛着を感じるようになるのではないかと推測した。また、スポーツの中でもとくに団体競技は地域の人々との接触機会を増やし、そのことで地域愛着をより感じようになるのではないかと推測した。

以下の3つの仮説を検証していく。

仮説1：小学生時代に地域の子ども対象のスポーツチームに入っていた人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い。

仮説2：小学生時代に団体競技のスポーツチームに入っていた人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い。

仮説3：小学生時代に地域のお祭りに参加する意欲が高かった人はそうでない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い。

### 1. 仮説1の検証

まず、仮説1「小学生時代に地域の子ども対象のスポーツチームに入っていた人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い」を検証する。分析に使用する変数は、「小学生時代に地域の子ども対象のスポーツチームに入っていたか否か」と「小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度」という2つである。

#### 1) 小学生時代に地域の子ども対象のスポーツチームに入っていたか

調査では、「あなたは、小学生の時に、地域のスポーツチームに入っていましたか」を尋ね、回答は「はい」「いいえ」の2択で得た。その結果、「はい」（入っていた）と回答した者は25.8%（258人）、「いいえ」（入っていなかった）と回答した者は74.2%（742人）であった。

#### 2) 小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度

本調査では、調査対象者が小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度を知るために、以下の問いを用意した。質問文は「あなたは、小学生の時に住んでいた地域についてどのように感じていますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。なお、小学生の時から今まで転居していない方は、現在お住まいの地域についてお答えください」というもので、項目は10項目ある。

1. その地域出身の人と会うと嬉しい
2. その地域出身の有名人を応援したい
3. その地域の方言を聞くと嬉しい

4. その地域の景色を見ると嬉しい
5. その地域の味付けの料理を食べるのが好き
6. その地域の良いニュースを聞くと嬉しい
7. その地域の悪いニュースを聞くと悲しい
8. その地域には良い思い出がある
9. その地域にはいつまでも変わってほしくないものがある
10. その地域の良さを多くの人に知ってもらいたい

回答は、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかといえばあてはまらない」「あてはまらない」の4件法で得た。「あてはまる」を3点、「どちらかといえばあてはまる」を2点、「どちらかといえばあてはまらない」を1点、「あてはまらない」を0点にした。信頼性係数を算出したところ、 $\alpha = 0.957$  だった。そこで、総和を算出し、小学生時代に住んでいた地域の愛着度を算出した。尺度の記述統計は次のとおりである。平均値 15.6、標準偏差 7.77、最小値 0、最大値 30、尖度 -0.33、歪度 -0.37。

### 3) 仮説1の分析

上記2つの変数を使って、平均値の差の検定（t検定）を行った。その結果を表5-1に示す。

**表5-1 スポーツ団体への参加の有無と地域愛着度の関連（t検定）**

	平均値	標準偏差	t 値	p 値	
入っていた (n=258)	17.6	7.46	4.9	0.000	***
入っていなかった (n=742)	14.9	7.76			

分析結果によると、小学生の時に地域のスポーツ団体に入っていた人はそうではない人よりも当時、暮らしていた地域に対する愛着度が高いことが分かった。

## 2. 仮説2の検証

次に、仮説2「小学生時代に団体競技のスポーツチームに入っていた人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い」を検証する。分析に使用する変数は、「小学生時代に団体競技のスポーツチームに入っていたか」と「小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度」という2つである。

### 1) 小学生時代に団体競技のスポーツチームに入っていたか

調査票のQ9「小学生の時に地域のスポーツチームに入っていた」に「はい」と回答した者（258人）に対して、Q9sqでは、どのようなスポーツチームに入ったかを尋ねている。項目は下記の10項目であり、回答は複数回答で得た。

1. 野球
2. サッカー

3. バasketボール
4. バレーボール
5. 水泳
6. テニス
7. 柔道
8. 剣道
9. 空手
10. その他のスポーツ

上記 10 項目のうち、今回は「1. 野球」から「4. バレーボール」までの 4 競技を団体競技とみなし、それらを 1 つでも選択した者を「団体競技経験あり」、それ以外の者を「団体競技経験なし」とみなした。その結果、調査対象者のなかで、小学校時代に団体競技のスポーツチームに入っていた者は 76.7% (198 人)、入っていなかった者は 23.3% (60 人) であった。

## 2) 仮説 2 の分析

上で作成した「小学生時代に団体競技のスポーツチームに入っていたか」に関する変数と仮説 1 の検証のさいに作成した「小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度」を使って、平均値の差の検定 (t 検定) を行った。その結果を表 5-2 に示す。

**表 5-2 団体競技経験の有無と地域愛着度の関連 (t 検定)**

	平均値	標準偏差	t 値	p 値	
経験あり (n=198)	17.3	7.60	-1.5	0.138	n. s.
経験なし (n=60)	18.9	6.86			

分析の結果、小学生の時に地域のスポーツ団体に入っていた者のうち、そのスポーツが団体競技かそうではないかによって当時、暮らしていた地域に対する愛着度に差異はないことが分かった。

## 3. 仮説 3 の検証

最後に、仮説 3 「小学生時代に地域のお祭りに参加する意欲が高かった人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い」を検証する。分析に使用する変数は、「小学生時代に地域のお祭りに参加する意欲が高かったか」と「小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度」という 2 つである。

### 1) 小学生時代に地域のお祭りに参加する意欲が高かったか

質問文は「あなたは、小学生の時に、地域で行われるお祭りに参加していましたか」で、選択肢は「必ず参加していた」「できるだけ参加していた」「気が向けば参加していた」「参加していない」の 4 つである。分析にさいしては、「必ず参加していた」を参加意欲高群、「出来るだけ参加していた」と「気が向けば参加していた」を合わせて参加意欲低群、「参加していない」を不参加

群の3群に整理した。参加意欲高群は21.8% (218人)、参加意欲低群は576人 (57.6%)、不参加群は20.6% (206人)であった。

## 2) 仮説3の分析

上の1)で作成した「小学生時代に地域にお祭りに参加する意欲」の3群と仮説1の分析時に作成済みの「小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度」という2つの変数を使って平均値の差の検定(分散分析)を行った。その結果を表5-3に示す。

**表5-3 祭りへの参加意欲の高低と地域愛着度の関連(分散分析)**

祭り参加意欲	地域愛着度	
参加意欲高群	18.60	
参加意欲低群	15.96	
不参加群	11.45	

F値=50.9    p値=0.000    \*\*\* : p < .001

分散分析の結果、F値が50.9、p値が0.000で、祭りの参加意欲の高低と地域愛着度には有意な効果が示されている。TukeyのHSD法を用いて多重比較を行ったところ、3つのグループのすべての組み合わせにおいて有意な差が確認された。仮説3「小学生時代に地域のお祭りに参加する意欲が高かった人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い」は立証されたといえる。

## 4. まとめ

本章では、下記の3つの仮説を検証した。

仮説1：小学生時代に地域の子ども対象のスポーツチームに入っていた人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い。

仮説2：小学生時代に団体競技のスポーツチームに入っていた人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い。

仮説3：小学生時代に地域のお祭りに参加する意欲が高かった人はそうでない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着が高い。

仮説1を検証したところ、小学生時代に地域のスポーツチームに入っていた人はそうではない人よりも、当時住んでいた地域に対し、より強い愛着を感じていることが明らかになった。幼少期に地域のスポーツチームに入ること、地域のさまざまな物理的資源や人的資源に接する機会や地域での思い出が増え、結果的に愛着の度合いを高める効果を持っているのではないだろうか。

次に、仮説2を検証したところ、小学生時代、団体競技のスポーツチームに参加していたか否かによって、当時、住んでいた地域に対する愛着の程度には差がないことが分かった。つまり、仮説1と仮説2の分析結果から言えることは、しばしば「地元」と称されるような幼少期に住ん



でいた場所への愛着を高める要因のひとつはスポーツチームに所属していることであり、それは競技の種類（団体競技か否か）を問わないということになるだろう。

最後に、仮説3を検証したところ、小学生時代、地域のお祭りに参加する意欲が高かった人は、そうではない人に比べてその地域に対する愛着度が高いことが明らかになった。地域のお祭りに参加することは、何らかのスポーツチームに入ることと同様に、地域での思い出を豊かなものにし、愛着を高めるようである。

## 第6章 地域愛着度と学校教育の関係性

中村 敦志

私は、地域愛着度と幼少期における学校教育の質や量は関係しているのではないかと考えた。その理由は、私自身に小学校教育のなかで地域に関する様々な学習経験があり、当時の地域に関する知識もある程度身につけていたことが私の地域愛着度の高さに関連があるのではないかと考えたためである。

そこで、今回、地域に関する学習経験の有無、学習内容の幅広さ、知識の豊富さの3変数と地域愛着度の関係について検討することにした。

なお、本分析で用いる地域愛着度は調査対象者が小学生時代に住んでいた地域に限ったものであり、現在住んでいる地域愛着度とは異なる可能性があることに留意する必要がある。

検証する仮説は、下記の3つである。

仮説1：小学生時代にその地域に関する学習経験がある人はない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高い。

仮説2：小学生時代にその地域に関する幅広い学習経験がある人はない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高い。

仮説3：小学生時代に住んでいた地域に関する知識が豊富な人はそうでない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高い。

### 1. 仮説1「小学生時代にその地域に関する学習経験がある人はない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高い」の検証

#### 1) 学習経験の有無についての項目

地域に関する事柄の小学校の授業における学習経験について、今回の調査票では「あなたは、小学校の時に住んでいた都道府県に関する以下の1～10のことを小学校の授業で学んだ経験がありますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください」という質問文と下記の10項目を用意した。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 歴史・伝承 | 2. 特産・名産 |
| 3. 郷土料理  | 4. 偉人    |
| 5. 有名人   | 6. 工芸品   |
| 7. 動物・植物 | 8. 名所旧跡  |
| 9. 観光地   | 10. 方言   |

選択肢は、「学んだ」「おそらく学んだ」「おそらく学んでいない」「学んでいない」という4件法である。

分析にあたっては、10項目すべてについて「学んでいない」と回答したものを「学習経験なし」とし、それ以外を「学習経験あり」という2群に分けた。下表のとおり、「学習経験あり」は85.9%、「学習経験なし」は14.1%である。

表 6-1 小学生時代の学習経験の有無

	度数(n)	%
学習経験あり	859	85.9
学習経験なし	141	14.1
合計	1000	100

## 2) 小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度についての項目

小学生時代に住んでいた地域に対する愛着度について調べるために、以下の 10 項目について「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」という 4 件法で尋ねた。

1. その地域出身の人と会うと嬉しい
2. その地域出身の有名人を応援したい
3. その地域の方言を聞くと嬉しい
4. その地域の景色を見ると嬉しい
5. その地域の味付けの料理を食べるのが好き
6. その地域の良いニュースを聞くと嬉しい
7. その地域の悪いニュースを聞くと悲しい
8. その地域には良い思い出がある
9. その地域にはいつまでも変わってほしくないものがある
10. その地域の良さを多くの人に知ってもらいたい

上記 10 項目の回答について、「あてはまる」を 3 点、「どちらかといえばあてはまる」を 2 点、「どちらかといえばあてはまらない」を 1 点、「あてはまらない」を 0 点とし、回答者ごとの地域愛着度を求めた。

これらを合成変数にするために、信頼性係数を求めたところ、信頼性係数は  $\alpha = 0.957$  であり、かなり高い値となっているため内的一貫性があると判断できる。よって、10 項目の合計点を「小学生時代に住んでいた地域に関する地域愛着度」という尺度とした。

こうして作成された「小学生時代に住んでいた地域に対する地域愛着度」の要約統計量は以下の通りである。平均値 15.6、標準偏差 7.77、最小値 0、最大値 30、歪度-0.37、尖度-3.29。

## 3) 仮説 1 の分析

上記の「学習経験の有無の 2 群」と「小学生時代に住んでいた地域に対する地域愛着度」を用いて t 検定を行ったところ、有意水準は 0.000 を示していた。

表 6-2 学習経験の有無と地域愛着度の関連 (t 検定)

	度数(n)	平均値	標準偏差	t 値	自由度	有意確率 (両側)
学習経験あり	859	16.7	7.02	-10.5	172.11	0.000
学習経験なし	141	8.8	8.58			

結果は、有意確率(両側)=0.000 であり、0.05 未満であるため、2 群間で平均値には有意な差があるといえる。

つまり、小学生時代にその地域に関する学習経験がある人はない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高いということがわかり、仮説 1 は立証された。

## 2. 仮説 2 「小学生時代にその地域に関する幅広い学習経験がある人はない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高い」の検証

### 1) 学習経験の幅広さについて

上述のとおり、地域に関する事柄の小学校の授業における学習経験について、今回の調査票では「あなたは、小学生の時に住んでいた都道府県に関する以下の 1～10 のことを小学校の授業で学んだ経験がありますか。それぞれあてはまるもの 1 つをお選びください」という質問文と下記の 10 項目を用意した。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 歴史・伝承 | 2. 特産・名産 |
| 3. 郷土料理  | 4. 偉人    |
| 5. 有名人   | 6. 工芸品   |
| 7. 動物・植物 | 8. 名所旧跡  |
| 9. 観光地   | 10. 方言   |

上記の 10 項目の回答について「学んだ」を 3 点、「おそらく学んだ」を 2 点、「おそらく学んでいない」を 1 点、「学んでいない」を 0 点とし、回答者ごとの学習経験の度合いを求めた。

これらを合成変数にするために、信頼性係数を求めたところ、信頼性係数は  $\alpha = 0.954$  とかなり高い値となっているため内的一貫性があると判断できる。よって、10 項目の合計点を「小学生時代の地域に関する学習経験の幅広さ」を示す尺度とした。

こうして作成された「小学生時代の地域に関する学習経験の幅広さ」の要約統計量は以下の通りである。平均値 12.3、標準偏差 7.33、最小値 0、最大値 30、歪度-0.66、尖度-0.41。

### 2) 仮説 2 の分析

上記の「小学生時代の地域に関する学習経験の幅広さ」と「小学生時代に住んでいた地域に対する地域愛着度」を用いて相関分析を行ったところ、有意水準は 0.000 を示していた。

表 6-3 学習経験の幅の広さと小学校時代の地域に対する愛着度の相関分析

	平均	標準偏差	相関係数	p 値
学習経験の幅の広さ (n=1000)	12.3	7.33	0.488	0.000
地域愛着度 (n=1000)	15.6	7.77		

有意水準が 0.05 未満のため 2 変数には何らかの関連があると考えられる。相関係数を確認すると 0.488 のプラスであり、やや強い正の相関があるといえる。

これにより、小学生時代にその地域に関する幅広い学習経験がある人はない人よりも、当時住

んでいた地域に対する愛着度が高いということがわかり、仮説2は立証された。

### 3. 仮説3「小学生時代に住んでいた地域に関する知識が豊富な人はそうでない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高い」の検証

#### 1) 知識の豊富さについての項目

知識の豊富さについて調べるために、小学生時代の地域に関する知識についての以下の10項目について「よく知っている」「だいたい知っている」「あまり知らない」「知らない」という4件法で尋ねた。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1. 歴史・伝承 | 2. 特産・名産 |
| 3. 郷土料理  | 4. 偉人    |
| 5. 有名人   | 6. 工芸品   |
| 7. 動物・植物 | 8. 名所旧跡  |
| 9. 観光地   | 10. 方言   |

以上10項目の回答について「よく知っている」を3点、「だいたい知っている」を2点、「あまり知らない」を1点、「全く知らない」を0点とし、回答者ごとの知識の豊富さの度合いを求めた。

これらを合成変数にするために、信頼性係数を求めたところ、信頼性係数は $\alpha = 0.952$ と0.7を超えているため内的一貫性があると判断できる。よって、10項目の合計点を「小学生時代の地域に関する知識の豊富さ」を示す尺度とした。

こうして作成された「小学生時代の地域に関する知識の豊富さ」の要約統計量は以下の通りである。平均値12.3、標準偏差7.03、最小値0、最大値30、歪度-0.03、尖度-0.16。

#### 2) 仮説3の分析

上記の「小学生時代の地域に関する知識の豊富さ」と「小学生時代に住んでいた地域に対する地域愛着度」を用いて相関分析を行ったところ、有意水準は0.000を示していた。

表6-4 知識の豊富さと小学校時代の地域に対する愛着度の相関分析

	平均	標準偏差	相関係数	p値
知識の豊富さ (n=1000)	12.3	7.03	0.546	0.000
地域愛着度 (n=1000)	15.6	7.77		

有意水準が0.05未満のため2変数には何らかの関連があると考えられる。相関係数を確認すると0.546のプラスであり、やや強い正の相関があるといえる。

これにより、小学生時代にその地域に関する豊富な知識がある人はない人よりも、当時住んでいた地域に対する愛着度が高いということがわかり、仮説3は立証された。

#### 4. 考察

以上見てきたとおり、仮説1、仮説2、仮説3はすべて立証された。

ここから考えられることとして、学校教育や独学によって当時住んでいた地域に関する知識を学ぶことで、その地域に対する理解が深まり、結果として地域愛着度が高まっているのではないだろうか。

最初に述べたように、筆者自身が学校教育などによって当時住んでいた地域に対する知識が豊富にあるが故に地域愛着度が高いと考えていたため、この結果には大変満足である。

また調査機会があれば、次は調査対象者の地域に関する学習に対する意欲も考慮した調査も行ってみたいと考える。

## あとがき

本科目「社会調査実習」は、(一社)社会調査協会によって認定される社会調査士資格を取得するための必須科目となっており、社会調査協会の定めるところによれば、本科目(=社会調査協会が指定する「社会調査の実習を中心とする科目」)には、年間30回の授業を必要とする。

「社会調査実習」は、コミュニティ政策学部のカリキュラム編成上、前学期中に週2コマ、計30回というかたちをとる。その30回の授業時間のなかで調査の企画、実査、基礎的な集計と考察は無事に終わることが出来たが、本報告書を作成するための原稿執筆は、後学期中に入ってから履修生がそれぞれに取り組んできた。また、今年度履修生のなかには、同じキャンパス内にある総合福祉学部の学生1名が含まれている。総合福祉学部のカリキュラムに沿う場合、4年次に本科目を履修することになり、卒業論文や国家試験の受験準備、就職・進学のための諸活動と同時進行となった。

さらに、今年度は5名のうち2名が留学生であった。文化的背景が異なる学生間で問題関心を共有し、1つの調査票を完成させる作業は楽しくもあり、苦しくもあっただろう。母語ではない言語で調査票上の質問文や選択肢の妥当性を検討することは、非常に難しかったに違いない。5名の学生の分析はいずれも基礎的な分析手法によるものであり、仮説検証にはさらなる分析が必要と思われるものもあるが、本報告書は5名の学生の自助努力と相互協力の成果といえる。

貴重な時間を割いて本調査にご協力いただいた方々に、改めて御礼申し上げたい。

令和6年2月

青柳 涼子

本多 敏明





# 基礎集計表



SC1 あなたの性別をお知らせください。(SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	男性	516	51.6
2	女性	484	48.4

SC2\_1 あなたの年齢をお知らせください。/歳 (NU)

		回答数	%
全体		1000	100.0
平均値			45.60
最小値			20.00
最大値			69.00

SC3 あなたのお住まいの地域をお知らせください。(SA)

(1000名が「千葉県」のため表の記載は省略)

Q1 あなたは、今、住んでいるまちに何年、暮らしていますか。(SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	5年未満	159	15.9
2	5年以上10年未満	119	11.9
3	10年以上15年未満	120	12.0
4	15年以上20年未満	112	11.2
5	20年以上	490	49.0

Q2 あなたは、今、住んでいるまちに以下のような方がいますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

Q2\_1 会うとあいさつをする人 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	たくさんいる	137	13.7
2	数人いる	611	61.1
3	いない	252	25.2

Q2\_2 会うと立ち話をする人 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	たくさんいる	39	3.9
2	数人いる	384	38.4
3	いない	577	57.7

Q2\_3 おみやげを渡す人 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	たくさんいる	9	0.9
2	数人いる	286	28.6
3	いない	705	70.5

Q2\_4 お互いの家を訪問しあう人 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	たくさんいる	9	0.9
2	数人いる	196	19.6
3	いない	795	79.5

Q2\_5 家族ぐるみの付き合いがある人（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	たくさんいる	8	0.8
2	数人いる	191	19.1
3	いない	801	80.1

Q3 あなたは、今、住んでいるまちをどのように感じていますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

Q3\_1 このまちはリラックスできる（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	161	16.1
2	どちらかといえばあてはまる	559	55.9
3	どちらかといえばあてはまらない	180	18.0
4	あてはまらない	100	10.0

Q3\_2 雰囲気や土地柄が気に入っている（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	149	14.9
2	どちらかといえばあてはまる	516	51.6
3	どちらかといえばあてはまらない	219	21.9
4	あてはまらない	116	11.6

Q3\_3 このまちを歩くのは気持ち良い（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	137	13.7
2	どちらかといえばあてはまる	507	50.7
3	どちらかといえばあてはまらない	240	24.0
4	あてはまらない	116	11.6

Q3\_4 お気に入りの場所がある（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	124	12.4
2	どちらかといえばあてはまる	375	37.5
3	どちらかといえばあてはまらない	324	32.4
4	あてはまらない	177	17.7

Q3\_5 自分のまちという感じがする（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	121	12.1
2	どちらかといえばあてはまる	429	42.9
3	どちらかといえばあてはまらない	277	27.7
4	あてはまらない	173	17.3

Q3\_6 このまちが好きだ（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	162	16.2
2	どちらかといえばあてはまる	523	52.3
3	どちらかといえばあてはまらない	203	20.3
4	あてはまらない	112	11.2

Q3\_7 まちに思い出がある（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	144	14.4
2	どちらかといえばあてはまる	381	38.1
3	どちらかといえばあてはまらない	282	28.2
4	あてはまらない	193	19.3

Q3\_8 まちに自分の居場所がある（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	125	12.5
2	どちらかといえばあてはまる	457	45.7
3	どちらかといえばあてはまらない	274	27.4
4	あてはまらない	144	14.4

Q3\_9 このまちは住みやすい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	206	20.6
2	どちらかといえばあてはまる	555	55.5
3	どちらかといえばあてはまらない	154	15.4
4	あてはまらない	85	8.5

Q3\_10 このまちにずっと住みたい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	167	16.7
2	どちらかといえばあてはまる	460	46.0
3	どちらかといえばあてはまらない	232	23.2
4	あてはまらない	141	14.1

Q4 あなたは、今、住んでいるまちで行われるお祭りに参加していますか。（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	必ず参加している	21	2.1
2	できるだけ参加している	79	7.9
3	気が向けば参加している	285	28.5
4	参加していない	441	44.1
5	行われているか、わからない	174	17.4

Q5 あなたは、今、住んでいるまちで以下のようなボランティア活動に参加したことがありますか。

Q5\_1 パトロールなどの防犯ボランティア（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	76	7.6
2	一度、参加したことがある	54	5.4
3	参加したことがない	478	47.8
4	活動がない／活動があるかわからない	392	39.2

Q5\_2 パトロールや避難所設営などの防災ボランティア（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	33	3.3
2	一度、参加したことがある	40	4.0
3	参加したことがない	489	48.9
4	活動がない／活動があるかわからない	438	43.8

Q5\_3 ゴミ拾いなどの環境保全ボランティア（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	152	15.2
2	一度、参加したことがある	69	6.9
3	参加したことがない	402	40.2
4	活動がない／活動があるかわからない	377	37.7

Q5\_4 スポーツや健康づくりに関するイベントのボランティア（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	27	2.7
2	一度、参加したことがある	39	3.9
3	参加したことがない	480	48.0
4	活動がない／活動があるかわからない	454	45.4

Q5\_5 祭りや文化祭などのイベントのボランティア（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	86	8.6
2	一度、参加したことがある	75	7.5
3	参加したことがない	471	47.1
4	活動がない／活動があるかわからない	368	36.8

Q5\_6 敬老会の開催など高齢者を対象とした活動のボランティア（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	26	2.6
2	一度、参加したことがある	27	2.7
3	参加したことがない	484	48.4
4	活動がない／活動があるかわからない	463	46.3

Q5\_7 子ども会など子どもを対象とした活動のボランティア（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	67	6.7
2	一度、参加したことがある	53	5.3
3	参加したことがない	447	44.7
4	活動がない／活動があるかわからない	433	43.3

Q5\_8 国際交流活動のボランティア（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	10	1.0
2	一度、参加したことがある	17	1.7
3	参加したことがない	437	43.7
4	活動がない／活動があるかわからない	536	53.6

Q5\_9 募金活動のボランティア（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	複数回、参加したことがある	26	2.6
2	一度、参加したことがある	30	3.0
3	参加したことがない	452	45.2
4	活動がない／活動があるかわからない	492	49.2

Q5SQ ボランティア活動への参加についてお尋ねします。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

Q5SQ\_1 私は、地域のためにボランティア活動に参加している（SA）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	27	8.3
2	どちらかといえばあてはまる	65	19.9
3	どちらかといえばあてはまらない	99	30.4
4	あてはまらない	135	41.4

Q5SQ\_2 私は、自分の成長のためにボランティア活動に参加している（SA）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	15	4.6
2	どちらかといえばあてはまる	49	15.0
3	どちらかといえばあてはまらない	116	35.6
4	あてはまらない	146	44.8

Q5SQ\_3 私は、家族のためにボランティア活動に参加している（SA）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	10	3.1
2	どちらかといえばあてはまる	60	18.4
3	どちらかといえばあてはまらない	112	34.4
4	あてはまらない	144	44.2

Q5SQ\_4 私は、自主的にボランティア活動に参加している（SA）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	19	5.8
2	どちらかといえばあてはまる	60	18.4
3	どちらかといえばあてはまらない	104	31.9
4	あてはまらない	143	43.9

Q5SQ\_5 私は、ボランティア活動を通して、私生活が楽しくなった（SA）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	13	4.0
2	どちらかといえばあてはまる	44	13.5
3	どちらかといえばあてはまらない	116	35.6
4	あてはまらない	153	46.9

Q5SQ\_6 私は、ボランティア活動を通して、知り合いが増えた（SA）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	19	5.8
2	どちらかといえばあてはまる	69	21.2
3	どちらかといえばあてはまらない	91	27.9
4	あてはまらない	147	45.1

Q5SQ\_7 私は、ボランティア活動を通して、自分自身が成長できた（SA）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	21	6.4
2	どちらかといえばあてはまる	59	18.1
3	どちらかといえばあてはまらない	104	31.9
4	あてはまらない	142	43.6

Q5SQ\_8 私は、ボランティア活動を通して、新しい地域情報が得られた（S A）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	21	6.4
2	どちらかといえばあてはまる	65	19.9
3	どちらかといえばあてはまらない	97	29.8
4	あてはまらない	143	43.9

Q5SQ\_9 私は、ボランティア活動を通して、社会に貢献していると感じた（S A）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	21	6.4
2	どちらかといえばあてはまる	77	23.6
3	どちらかといえばあてはまらない	89	27.3
4	あてはまらない	139	42.6

Q5SQ\_10 私は、ボランティア活動にやりがいを感じた（S A）

		回答数	%
全体		326	100.0
1	あてはまる	18	5.5
2	どちらかといえばあてはまる	68	20.9
3	どちらかといえばあてはまらない	105	32.2
4	あてはまらない	135	41.4

Q6 あなたが、今、住んでいる地域（まち）の人は以下の1～6にどの程度あてはまりますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

Q6\_1 地域の人は基本的に正直である（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	53	5.3
2	どちらかといえばあてはまる	607	60.7
3	どちらかといえばあてはまらない	215	21.5
4	あてはまらない	125	12.5

Q6\_2 地域の人は基本的に善良で親切である（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	76	7.6
2	どちらかといえばあてはまる	620	62.0
3	どちらかといえばあてはまらない	184	18.4
4	あてはまらない	120	12.0

Q6\_3 地域の人は他人を信頼している（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	48	4.8
2	どちらかといえばあてはまる	555	55.5
3	どちらかといえばあてはまらない	260	26.0
4	あてはまらない	137	13.7

Q6\_4 地域の人は信頼できる（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	50	5.0
2	どちらかといえばあてはまる	550	55.0
3	どちらかといえばあてはまらない	264	26.4
4	あてはまらない	136	13.6



Q6\_5 地域の人間関係はとても良い（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	35	3.5
2	どちらかといえばあてはまる	524	52.4
3	どちらかといえばあてはまらない	302	30.2
4	あてはまらない	139	13.9

Q6\_6 地域には知っている人がたくさんいる（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	43	4.3
2	どちらかといえばあてはまる	286	28.6
3	どちらかといえばあてはまらない	397	39.7
4	あてはまらない	274	27.4

Q7 あなたが、今、住んでいる地域（まち）において以下の1～10のことは必要だと思いますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください

Q7\_1 外国籍の住民が住みやすくなるための条例を作ること（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	43	4.3
2	必要だと思う	483	48.3
3	必要だと思わない	324	32.4
4	全く必要だと思わない	150	15.0

Q7\_2 子育て世帯を支援するための条例を作ること（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	140	14.0
2	必要だと思う	544	54.4
3	必要だと思わない	217	21.7
4	全く必要だと思わない	99	9.9

Q7\_3 性的マイノリティ（LGBTQ+）の方に対する、パートナーシップ制度を導入すること（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	55	5.5
2	必要だと思う	476	47.6
3	必要だと思わない	314	31.4
4	全く必要だと思わない	155	15.5

Q7\_4 障がい者のために地域でバリアフリーを整備すること（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	139	13.9
2	必要だと思う	635	63.5
3	必要だと思わない	153	15.3
4	全く必要だと思わない	73	7.3

Q7\_5 女性の「生理の貧困」問題の対策として、生理用品の無償配布活動をする（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	69	6.9
2	必要だと思う	489	48.9
3	必要だと思わない	311	31.1
4	全く必要だと思わない	131	13.1

Q7\_6 住民同士のふれあい活動や近所づきあいを推進すること（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	56	5.6
2	必要だと思う	507	50.7
3	必要だと思わない	327	32.7
4	全く必要だと思わない	110	11.0

Q7\_7 ひとり暮らし高齢者の見守り活動をする事（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	163	16.3
2	必要だと思う	607	60.7
3	必要だと思わない	154	15.4
4	全く必要だと思わない	76	7.6

Q7\_8 定期的に子ども食堂を開催すること（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	61	6.1
2	必要だと思う	497	49.7
3	必要だと思わない	317	31.7
4	全く必要だと思わない	125	12.5

Q7\_9 刑務所を出所した方の更生のための就労場所を作ること（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	32	3.2
2	必要だと思う	395	39.5
3	必要だと思わない	388	38.8
4	全く必要だと思わない	185	18.5

Q7\_10 認知症高齢者を理解するための知識やスキルを学ぶ講座を開くこと（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	とても必要だと思う	82	8.2
2	必要だと思う	595	59.5
3	必要だと思わない	229	22.9
4	全く必要だと思わない	94	9.4

Q8 あなたは、小学生の時に、地域で行われるお祭りに参加していましたか。（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	必ず参加していた	218	21.8
2	できるだけ参加していた	309	30.9
3	気が向けば参加していた	267	26.7
4	参加していない	206	20.6

Q9 あなたは、小学生の時に、地域のスポーツチームに入っていましたか。（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	はい	258	25.8
2	いいえ	742	74.2

Q9SQ あなたが入っていたのは何のスポーツのチームですか。あてはまるものをすべてお選びください。(MA)

		回答数	%
全体		258	100.0
1	野球	118	45.7
2	サッカー	50	19.4
3	バスケットボール	29	11.2
4	バレーボール	15	5.8
5	水泳	26	10.1
6	テニス	2	0.8
7	柔道	3	1.2
8	剣道	12	4.7
9	空手	8	3.1
10	その他のスポーツ	36	14.0

Q10 あなたは、小学生の時に住んでいた都道府県に関する以下の1～10のことを知っていますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

Q10\_1 歴史・伝承 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	43	4.3
2	だいたい知っている	346	34.6
3	あまり知らない	428	42.8
4	全く知らない	183	18.3

Q10\_2 特産・名産 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	97	9.7
2	だいたい知っている	465	46.5
3	あまり知らない	298	29.8
4	全く知らない	140	14.0

Q10\_3 郷土料理 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	69	6.9
2	だいたい知っている	310	31.0
3	あまり知らない	413	41.3
4	全く知らない	208	20.8

Q10\_4 偉人 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	48	4.8
2	だいたい知っている	271	27.1
3	あまり知らない	444	44.4
4	全く知らない	237	23.7

Q10\_5 有名人 (SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	52	5.2
2	だいたい知っている	321	32.1
3	あまり知らない	414	41.4
4	全く知らない	213	21.3

Q10\_6 工芸品（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	35	3.5
2	だいたい知っている	206	20.6
3	あまり知らない	475	47.5
4	全く知らない	284	28.4

Q10\_7 動物・植物（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	34	3.4
2	だいたい知っている	253	25.3
3	あまり知らない	470	47.0
4	全く知らない	243	24.3

Q10\_8 名所旧跡（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	52	5.2
2	だいたい知っている	367	36.7
3	あまり知らない	378	37.8
4	全く知らない	203	20.3

Q10\_9 観光地（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	83	8.3
2	だいたい知っている	425	42.5
3	あまり知らない	316	31.6
4	全く知らない	176	17.6

Q10\_10 方言（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	よく知っている	109	10.9
2	だいたい知っている	274	27.4
3	あまり知らない	367	36.7
4	全く知らない	250	25.0

Q11 あなたは、小学生の時に住んでいた都道府県に関する以下の1～10のことを小学校の授業で学んだ経験がありますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

Q11\_1 歴史・伝承（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	136	13.6
2	おそらく学んだ	454	45.4
3	おそらく学んでいない	243	24.3
4	学んでいない	167	16.7

Q11\_2 特産・名産（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	90	9.0
2	おそらく学んだ	414	41.4
3	おそらく学んでいない	317	31.7
4	学んでいない	179	17.9

Q11\_3 郷土料理（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	62	6.2
2	おそらく学んだ	276	27.6
3	おそらく学んでいない	428	42.8
4	学んでいない	234	23.4

Q11\_4 偉人（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	94	9.4
2	おそらく学んだ	340	34.0
3	おそらく学んでいない	344	34.4
4	学んでいない	222	22.2

Q11\_5 有名人（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	51	5.1
2	おそらく学んだ	243	24.3
3	おそらく学んでいない	429	42.9
4	学んでいない	277	27.7

Q11\_6 工芸品（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	53	5.3
2	おそらく学んだ	281	28.1
3	おそらく学んでいない	432	43.2
4	学んでいない	234	23.4

Q11\_7 動物・植物（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	57	5.7
2	おそらく学んだ	292	29.2
3	おそらく学んでいない	417	41.7
4	学んでいない	234	23.4

Q11\_8 名所旧跡（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	91	9.1
2	おそらく学んだ	394	39.4
3	おそらく学んでいない	319	31.9
4	学んでいない	196	19.6

Q11\_9 観光地（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	79	7.9
2	おそらく学んだ	331	33.1
3	おそらく学んでいない	371	37.1
4	学んでいない	219	21.9

Q11\_10 方言（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	学んだ	31	3.1
2	おそらく学んだ	153	15.3
3	おそらく学んでいない	439	43.9
4	学んでいない	377	37.7

Q12 あなたは小学生の時に住んでいた地域についてどのように感じていますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。なお、小学生の時から今まで転居していない方は、現在お住まいの地域についてお答えください。

Q12\_1 その地域出身の人と会うと嬉しい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	131	13.1
2	どちらかといえばあてはまる	458	45.8
3	どちらかといえばあてはまらない	245	24.5
4	あてはまらない	166	16.6

Q12\_2 その地域出身の有名人を応援したい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	121	12.1
2	どちらかといえばあてはまる	443	44.3
3	どちらかといえばあてはまらない	269	26.9
4	あてはまらない	167	16.7

Q12\_3 その地域の方言を聞くと嬉しい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	98	9.8
2	どちらかといえばあてはまる	316	31.6
3	どちらかといえばあてはまらない	338	33.8
4	あてはまらない	248	24.8

Q12\_4 その地域の景色を見ると嬉しい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	161	16.1
2	どちらかといえばあてはまる	468	46.8
3	どちらかといえばあてはまらない	227	22.7
4	あてはまらない	144	14.4

Q12\_5 その地域の味付けの料理を食べるのが好き（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	126	12.6
2	どちらかといえばあてはまる	393	39.3
3	どちらかといえばあてはまらない	307	30.7
4	あてはまらない	174	17.4

Q12\_6 その地域の良いニュースを聞くと嬉しい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	193	19.3
2	どちらかといえばあてはまる	482	48.2
3	どちらかといえばあてはまらない	197	19.7
4	あてはまらない	128	12.8

Q12\_7 その地域の悪いニュースを聞くと悲しい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	181	18.1
2	どちらかといえばあてはまる	477	47.7
3	どちらかといえばあてはまらない	208	20.8
4	あてはまらない	134	13.4

Q12\_8 その地域には良い思い出がある（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	154	15.4
2	どちらかといえばあてはまる	465	46.5
3	どちらかといえばあてはまらない	243	24.3
4	あてはまらない	138	13.8

Q12\_9 その地域にはいつまでも変わってほしくないものがある（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	143	14.3
2	どちらかといえばあてはまる	427	42.7
3	どちらかといえばあてはまらない	283	28.3
4	あてはまらない	147	14.7

Q12\_10 その地域の良さを多くの人に知ってもらいたい（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	115	11.5
2	どちらかといえばあてはまる	435	43.5
3	どちらかといえばあてはまらない	292	29.2
4	あてはまらない	158	15.8

Q13 あなたは、以下のことがらについてどの程度あてはまりますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください

Q13\_1 健康状態は、全般的に良好である（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	192	19.2
2	どちらかといえばあてはまる	511	51.1
3	どちらかといえばあてはまらない	198	19.8
4	あてはまらない	99	9.9

Q13\_2 年に1回以上、図書館に行く（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	149	14.9
2	どちらかといえばあてはまる	160	16.0
3	どちらかといえばあてはまらない	224	22.4
4	あてはまらない	467	46.7

Q13\_3 15歳のとき、家に子ども部屋があった（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	458	45.8
2	どちらかといえばあてはまる	275	27.5
3	どちらかといえばあてはまらない	102	10.2
4	あてはまらない	165	16.5



Q13\_4 15歳のとき、家に学習機があった（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	545	54.5
2	どちらかといえばあてはまる	297	29.7
3	どちらかといえばあてはまらない	70	7.0
4	あてはまらない	88	8.8

Q13\_5 15歳のとき、家にピアノがあった（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	228	22.8
2	どちらかといえばあてはまる	111	11.1
3	どちらかといえばあてはまらない	105	10.5
4	あてはまらない	556	55.6

Q13\_6 15歳のとき、家に文学全集・図鑑があった（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	229	22.9
2	どちらかといえばあてはまる	221	22.1
3	どちらかといえばあてはまらない	157	15.7
4	あてはまらない	393	39.3

Q13\_7 15歳のとき、家に美術品・骨董品があった（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	57	5.7
2	どちらかといえばあてはまる	101	10.1
3	どちらかといえばあてはまらない	203	20.3
4	あてはまらない	639	63.9

Q13\_8 子どもの頃、家族が本をよく読んでくれた（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	134	13.4
2	どちらかといえばあてはまる	237	23.7
3	どちらかといえばあてはまらない	271	27.1
4	あてはまらない	358	35.8

Q13\_9 小学生の頃、家でクラシック音楽をよく聞いた（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	53	5.3
2	どちらかといえばあてはまる	118	11.8
3	どちらかといえばあてはまらない	211	21.1
4	あてはまらない	618	61.8

Q13\_10 小学生の頃、家族につれられて美術展や博物館によく行った（S A）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	あてはまる	60	6.0
2	どちらかといえばあてはまる	164	16.4
3	どちらかといえばあてはまらない	263	26.3
4	あてはまらない	513	51.3



# 調 査 票



## アンケート画面開始

Page 1

SC1

あなたの性別をお知らせください。

- 男性  
 女性

SC2

あなたの年齢をお知らせください。

 歳

SC3

あなたのお住まいの地域をお知らせください。

 ▼

次へ

0 50 100(%)

## アンケート画面開始

Page 1

今、住んでいるまちでの暮らしについてお尋ねします。

Q1

あなたは、今、住んでいるまちに何年、暮らしていますか。

- 5年未満  
 5年以上10年未満  
 10年以上15年未満  
 15年以上20年未満  
 20年以上

次へ

0 50 100(%)

## Q2

あなたは、今、住んでいるまちに以下のような方がいますか。  
それぞれあてはまるもの1つをお選びください。(それぞれひとつずつ)

	た く さ ん い る	数 人 い る	い な い
1 会うとあいさつをする人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 会うと立ち話をする人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 おみやげを渡す人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 お互いの家を訪問しあう人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 家族ぐるみの付き合いがある人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ



## Q3

あなたは、今、住んでいるまちをどのように感じていますか。  
それぞれあてはまるもの1つをお選びください。(それぞれひとつずつ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1 このまちはリラックスできる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 雰囲気や土地柄が気に入っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 このまちを歩くのは気持ち良い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 お気に入りの場所がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 自分のまちという感じがする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 このまちが好きだ	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 まちに思い出がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 まちに自分の居場所がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 このまちは住みやすい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 このまちにずっと住みたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

Q4

あなたは、今、住んでいるまちで行われるお祭りに参加していますか。  
(コロナ禍でお祭り自体が中止されていた期間を除いて回答してください。)

- 必ず参加している
- できるだけ参加している
- 気が向けば参加している
- 参加していない
- 行われているか、わからない

次へ

0 50 100(%)



## Q5

あなたは、今、住んでいるまちで以下のようなボランティア活動に参加したことがありますか。(それぞれひとつずつ)

(町内会・自治会などの活動も含まれます。)

	複数回、参加したことがある	一度・参加したことがある	参加したことがない	活動がない/活動があるかわからない
1 パトロールなどの防犯ボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 パトロールや避難所設営などの防災ボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 ゴミ拾いなどの環境保全ボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 スポーツや健康づくりに関するイベントのボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 祭りや文化祭などのイベントのボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 敬老会の開催など高齢者を対象とした活動のボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 子ども会など子どもを対象とした活動のボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 国際交流活動のボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 募金活動のボランティア	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

## Q5SQ

ボランティア活動への参加についてお尋ねします。

それぞれあてはまるもの1つをお選びください。(それぞれひとつずつ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1 私は、地域のためにボランティア活動に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 私は、自分の成長のためにボランティア活動に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 私は、家族のためにボランティア活動に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 私は、自主的にボランティア活動に参加している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 私は、ボランティア活動を通して、私生活が楽しくなった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 私は、ボランティア活動を通して、知り合いが増えた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 私は、ボランティア活動を通して、自分自身が成長できた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 私は、ボランティア活動を通して、新しい地域情報が得られた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 私は、ボランティア活動を通して、社会に貢献していると感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 私は、ボランティア活動にやりがいを感じた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

Q6

あなたが、今、住んでいる地域(まち)の人は以下の1~6にどの程度あてはまりますか。  
それぞれあてはまるもの1つをお選びください。(それぞれひとつずつ)

あてはまる	どちらかといえ	どちらかといえ	あてはまらない
-------	---------	---------	---------



1	地域の人	は基本的に	正直である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2	地域の人	は基本的に	善良で親切である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3	地域の人	は他人を	信頼している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4	地域の人	は信頼	できる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5	地域の人	間関係は	とても良い	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6	地域には	知っている	人がたくさんいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

Q7

あなたが、今、住んでいる地域(まち)において以下の1~10のことは必要だと思いますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。(それぞれひとつずつ)

	とても必要だと思う	必要だと思う	必要だと思わない	全く必要だと思わない
1 外国籍の住民が住みやすくなるための条例を作ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 子育て世帯を支援するための条例を作ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 性的マイノリティ(LGBTQ+)の方に対する、パートナーシップ制度を導入すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 障がい者のために地域でバリアフリーを整備すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 女性の「生理の貧困」問題の対策として、生理用品の無償配布活動をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 住民同士のふれあい活動や近所づきあいを推進すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 ひとり暮らし高齢者の見守り活動をする	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 定期的に子ども食堂を開催すること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 刑務所を出所した方の更生のための就労場所を作ること	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 認知症高齢者を理解するための知識やスキルを学ぶ講座を開くこと	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

あなたが小学生の頃のことをお尋ねします。

Q8

あなたは、小学生の時に、地域で行われるお祭りに参加していましたか。

- 必ず参加していた
- できるだけ参加していた
- 気が向けば参加していた
- 参加していない

次へ



Q9

あなたは、小学生の時に、地域のスポーツチームに入っていましたか。  
(習いごとを含む。学校のクラブ活動は除く。)

- はい
- いいえ

次へ



## Q9SQ

あなたが入っていたのは何のスポーツのチームですか。  
あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも)

- 野球
- サッカー
- バasketボール
- バレーボール
- 水泳
- テニス
- 柔道
- 剣道
- 空手
- その他のスポーツ

次へ

0 50 100(%)

あなた自身のことをお尋ねします。

### Q10

あなたは、小学生の時に住んでいた都道府県に関する以下の1～10のことを知っていますか。

それぞれあてはまるもの1つをお選びください。(それぞれひとつずつ)

	よく知っている	だいたい知っている	あまり知らない	全く知らない
1 歴史・伝承	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 特産・名産	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 郷土料理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 偉人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 有名人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 工芸品	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 動物・植物	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 名所旧跡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 観光地	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 方言	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

## Q11

あなたは、小学生の時に住んでいた都道府県に関する以下の1～10のことを小学校の授業で学んだ経験がありますか。それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

(それぞれひとつずつ)

	学んだ	おそらく学んだ	おそらく学んでいない	学んでいない
1 歴史・伝承	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 特産・名産	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 郷土料理	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 偉人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 有名人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 工芸品	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 動物・植物	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 名所旧跡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 観光地	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 方言	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)



## Q12

あなたは、小学生の時に住んでいた地域についてどのように感じていますか。

それぞれあてはまるもの1つをお選びください。

なお、小学生の時から今まで転居していない方は、現在お住まいの地域についてお答えください。(それぞれひとつずつ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1 その地域出身の人と会うと嬉しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 その地域出身の有名人を応援したい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 その地域の方言を聞くと嬉しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 その地域の景色を見ると嬉しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 その地域の味付けの料理を食べるのが好き	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 その地域の良いニュースを聞くと嬉しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 その地域の悪いニュースを聞くと悲しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 その地域には良い思い出がある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 その地域にはいつまでも変わってほしくないものがある	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 その地域の良さを多くの人に知ってもらいたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

## Q13

あなたは、以下のことがらについてどの程度あてはまりますか。  
それぞれあてはまるもの1つをお選びください。(それぞれひとつずつ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1 健康状態は、全般的に良好である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2 年に1回以上、図書館に行く	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3 15歳のとき、家に子ども部屋があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4 15歳のとき、家に学習機があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5 15歳のとき、家にピアノがあった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6 15歳のとき、家に文学全集・図鑑があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7 15歳のとき、家に美術品・骨董品があった	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8 子どもの頃、家族が本をよく読んでくれた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9 小学生の頃、家でクラシック音楽をよく聞いた	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10 小学生の頃、家族につれられて美術展や博物館によく行った	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

0 50 100(%)

令和5年度 社会調査実習報告書 第12号

発行：2024年3月8日

発行者：淑徳大学コミュニティ政策学部

〒260-8701

千葉市中央区大巖寺町200

TEL 043-265-7331

印刷：株式会社 正文社

